

# 三笠ジオパークにおけるツーリズムの取り組みについて

An action about tourism of the Mikasa Geopark

第7回日本ジオパーク全国大会  
日本ジオパーク伊豆半島大会  
一般ポスターセッション 22

椛木 勇

三笠ジオパーク推進協議会 〒068-2192 北海道三笠市幸町2番地 三笠市役所 経済建設部 商工観光課内  
三笠市 経済建設部 商工観光課 地域開発・ジオパーク推進係 〒068-2192 三笠市幸町2番地

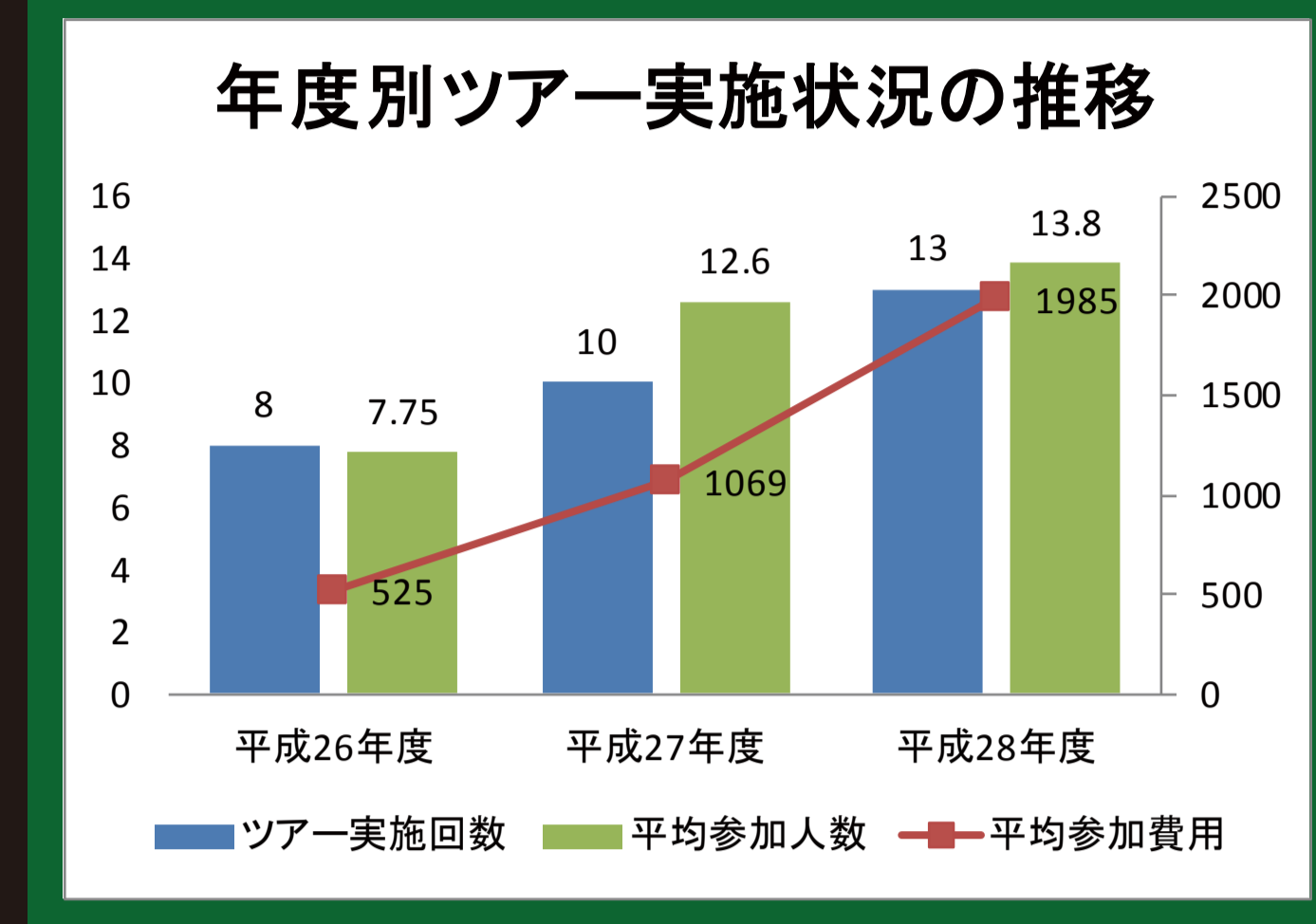


## ■はじめに

三笠ジオパークは、準会員として登録した平成24年度より本格的なジオツアーとしての取り組みを行っており、年々回数の充実や内容の変更などを行いながら多様なツアーを展開している。今回の発表では、当ジオパークで実施しているツアーの内容などを紹介するとともに、各種取り組みで得ることのできたデータやアンケートでの意見をまとめ、過去の実績から見た現状の分析と、それに伴う課題や問題点についての報告を行い、改善に向けた今後の取り組みに対する手法を考察する。

## ■三笠ジオパークにおけるジオツアーの取り組み

実施当初は、ジオパーク活動の周知や参加者にツアーの感想を聞くための**モニターツアー的な内容**であったが、昼食付きのツアーを増やす、参加料を実費だけでなくガイド料なども上乗せして徴収するなど、**客単価の向上、地域経済への貢献**を目指してツアーを実施している。



平成26年から平成28年度

年間のツアー実施回数  
1回あたりの平均参加費用  
1回あたりの参加平均人数  
※協議会主催ツアー分

→ 全て毎年 増

## ツアー内容の変化について

平成24年度(実施当初)

- ・基本的に料金は**実費(施設入館料など)のみ**
- ・決まった**1つのエリア**内でツアーは完結
- ・特定のジオサイトでの**ガイドの解説**がメイン

## 体験を重視したジオツアーの例



ワイナリーツアー



夏野菜収穫体験ツアー



ラフティング体験ツアー



メロン収穫体験ツアー

見る 学ぶ ジオツアー

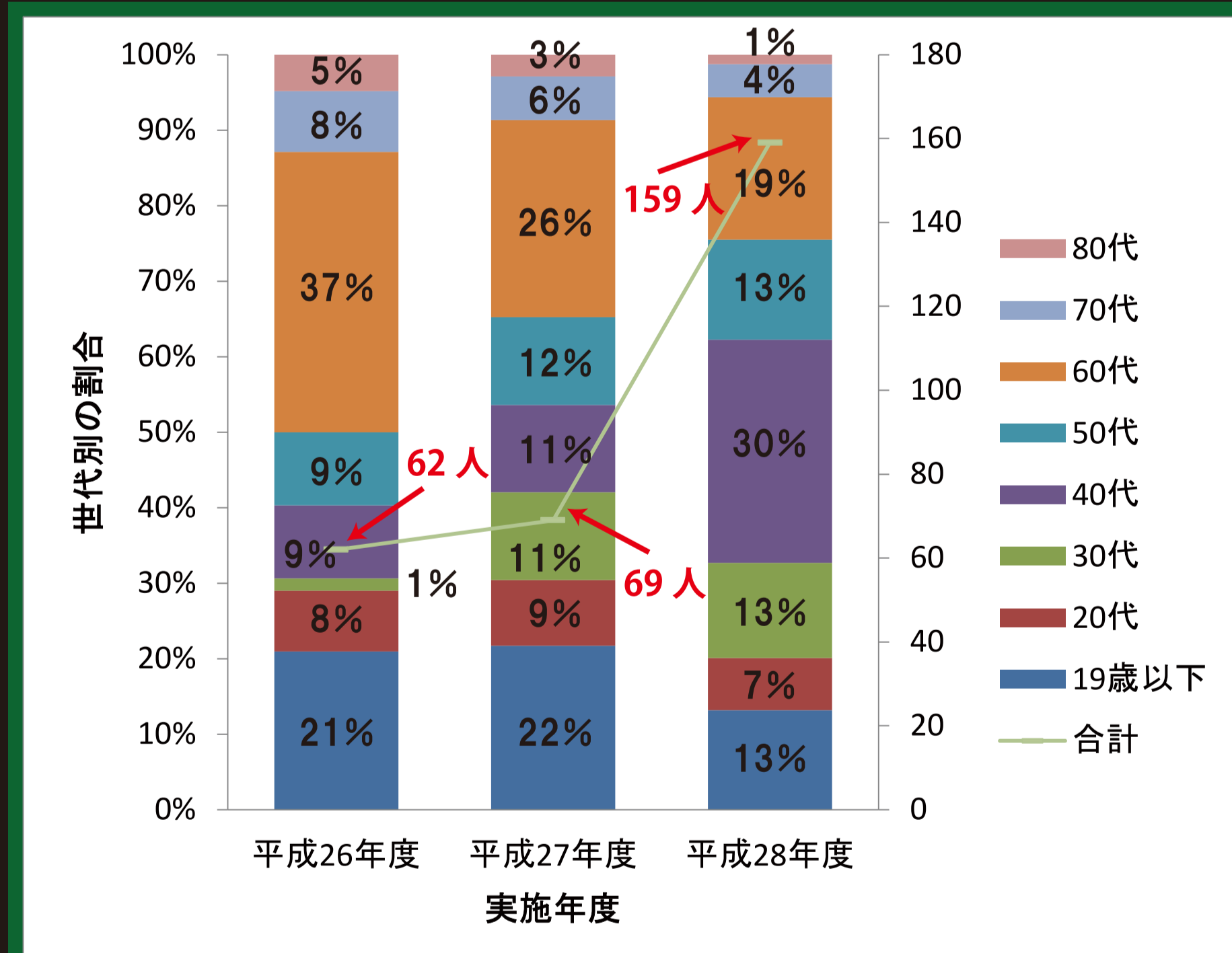
平成28年度(現在)

- ・料金は**実費+ガイド料**
- ・同日に**複数のエリア**を巡るツアーも実施
- ・ツアーにはできるだけ**体験メニュー**を絡める

見る 学ぶ + 楽しむ 飲む 食べる ジオツアー

## ■ツアーやイベントのアンケートによるデータについて

### ツアー参加者の年齢に関する推移



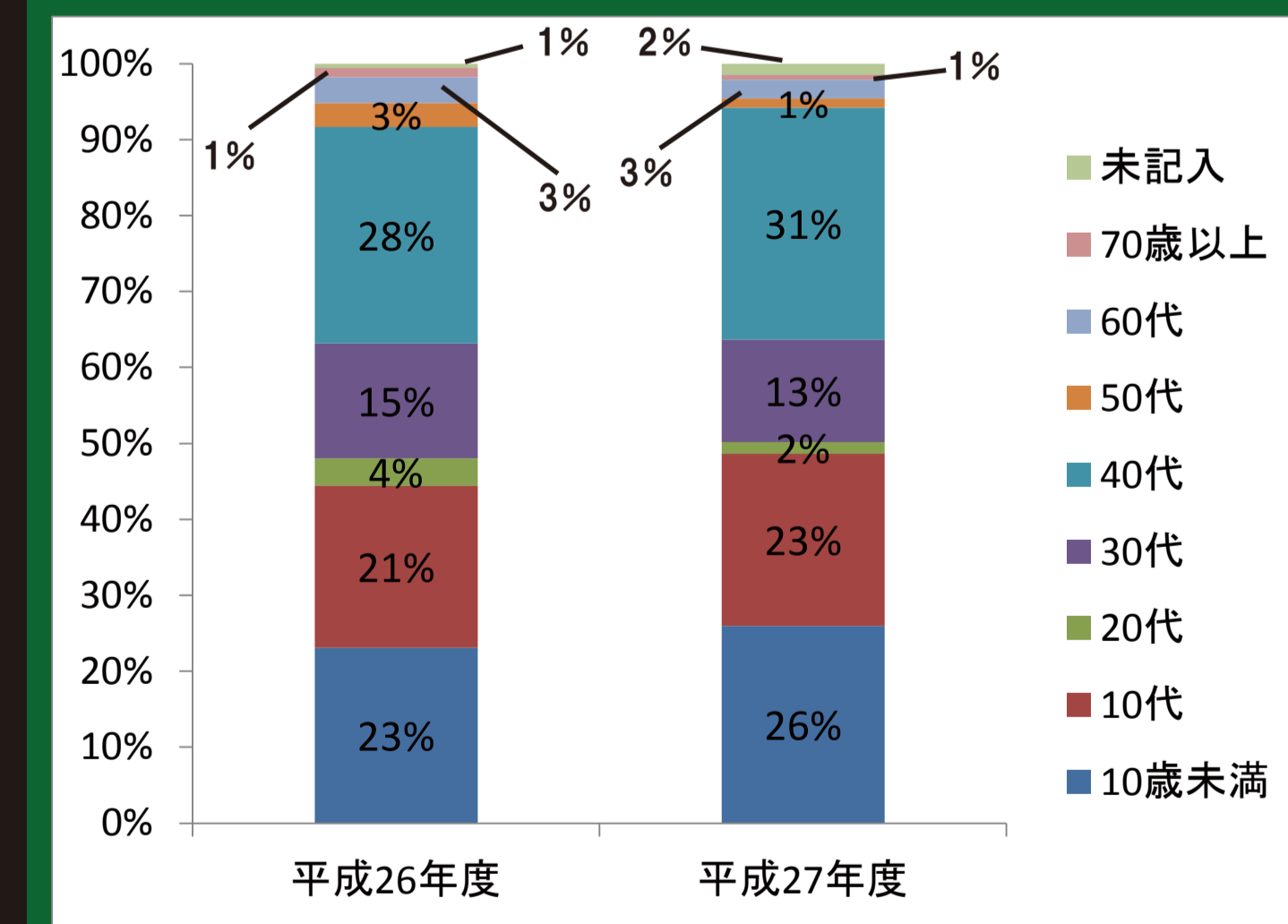
平成26年度  
19歳以下：21%  
40代 50代：9%  
60代：37%

平成28年度  
19歳以下：13%  
30代 50代：13%  
40代：30%  
60代：19%

- ・当初のジオツアーは**50～60代**の参加が大きな割合を占めていたが、謎解きイベントや体験を取り入れたツアーの実施などによって、様々な世代に三笠ジオパークをPRすることができた。
- ・その結果、**徐々に若い世代の参加者が増加**し、幅広い世代が参加する取り組みとなってきている。

### 三笠ジオパーク謎解きイベント

- ・三笠ジオパークのエリア内を歩きながら、各所に設置された謎を解き、ストーリーを楽しんでもらうイベント。
- ・50代・60代の参加者が多いジオツアーに比べ、子連れの家族などの参加が多く、**比較的若い世代に向けた取り組み**となった。



平成26年度  
10歳未満：23%  
10代：21%  
30代：15%  
40代：28%

平成27年度  
10歳未満：26%  
10代：23%  
30代：13%  
40代：31%

- ・参加者アンケートでは、**参加者の7割以上**(H26：73%、H27：77%)がジオパークに興味を湧いたと回答し、ジオパークの裾野を広げることができた。



←平成26年度から継続的に実施している

## ■今後の課題と改善について

### 解決すべき課題① … 周知目的のツアーからの脱却

→外部機関とのタイアップ  
宿泊を伴うツアーの開発による単価の向上など

### 解決すべき課題② … ツアー参加料金が安すぎる

→一般的な観光ツアーと比べても非常に安い  
ガイド料金などの根本的な見直しが必要  
ある程度の利益を得られるツアーを目指す

### 改善に向けて

- ・協議会単独でツアーの企画を行うのではなく、**旅行業者などと連携**したツアーを検討する。現在は行っていない**宿泊を伴うツアー**も可能になるほか、周知についてもより効果的な周知が期待でき、**ツアー実施についてのノウハウ**についても学ぶ事ができる。そのためにも、実施しているツアーの**質を向上させ、魅力あるプログラムを開発**することで、旅行会社にアピールを行う。
- ・また、ツアー中の昼食やお土産の購入などについては、できるだけツアーに取り入れ、**客単価の向上及び、地域への経済効果**を高める。